

2019年度海洋教育こどもサミット in みうらにおける各校の発表 その2

上宮田小学校3年生 「三浦の海の生き物について調べよう～まぐろ・海藻～」

三浦市の有名な生き物、マグロと海藻について学習したことを発表しました。マグロについては、メバチマグロは目が大きく真ん丸で別名「トンボ」と呼ばれていることなどを説明していました。最後に、マグロの名前の由来についてのクイズが出されました。海藻については、海藻おしば教室の自分たちの作品の紹介もありました。



旭小学校6年生 「海洋プラスチックごみが海の生き物に与える影響 ～未来をよくするプロジェクト～」

「海洋プラゴミの現状」「海の生き物に与える影響」「いま私たちにできること」の3グループの発表がありました。プラゴミの現状について説明した後、自分たちにできることは何かを考え、「リユース、リデュース、リサイクル」の大切さを訴えました。また、三浦海岸でゴミ集めをした結果について、写真や実際のゴミを展示して説明しました。

剣崎小学校4年生 「江奈湾について知ろう」 ステージ発表

学校の目の前の江奈湾に行き、「生き物」（生き物の生態・見分けポイント）「地層」（剣崎で見られる地層）「環境」（現在の課題）の3グループが、情報番組形式で発表しました。各グループが、スクリーンに写真を映して説明しました。



初声小学校4年生 「海×人×ごみ ～減らそうゴミ、増やそう思い～」 ステージ発表



これまで取り組んできたビーチコーミングや、ゴミ拾い活動をしている人へのインタビューなどを通じて学んできたことを、初声地域を舞台にした劇で発表しました。最後に、全員で、「To save the sea ～ゴミ袋くらいなら～」を歌い、会場の参加者に思いを訴えかけました。



先日、知り合いから寄贈された貝の写真です。何かで利用できるのではないかと、ということで頂きました。大変ありがたいことです。

オウムガイとタカラガイでしょうか？大きさもすごいのですが、自然の造形美には驚きますね。



(文責 事務局長 渋谷)